



JR竹原駅 バリアフリー化設備完成 ～「住みよさ」を実感できるまちに 一歩前進～



3月29日、JR竹原駅のバリアフリー化設備が完成し、エレベーターやスロープなどが利用できるようになりました。また、視覚に障害のある人に列車の接近を知らせる機器や、点字ブロック、点字案内板も設置されました。

完成記念式典には、小坂市長をはじめ、JR竹原駅利用推進市民の会のみなさんなど、竹原駅のバリアフリー化に携わった多くの関係者が出席。テープカットや、エレベーターを使用するデモンストレーションなどが

行われました。

式典で、お客様代表として初めてエレベーターを利用したのは、木下由希さん、玲ちゃん、淳くん親子と、栄谷ナミさん、佳昂くん、祐吏くん親子。

「以前はベビーカーを持って階段を上るのが大変でしたが、これからはエレベーターを利用できるので嬉しいですね。」といった声が聞かれました。

誰もが安心して暮らせるまちをめざして、今後様々な事業に取り組んでいきます。

4月18日、第21代かぐや姫に就任した小出姫幻さんと黒市理世さんが、市長を表敬訪問しました。

黒市さんは、4月7日にバンブー公園で行われた認定式で、かぐや姫に就任しました。三原市出身で、普段は竹原市内で作業療法士として働いています。

「最近、市内で飲食店なども増えていますし、竹原の観光は盛り上がり



ダブル
Wパワーで竹原を盛り上げる！
～第21代かぐや姫の2人が市長を表敬訪問～

ていると思います。竹原の町並みや名物などを積極的にPRしていきたいです。」

と、今後の抱負を語ってくれました。

また、かぐや姫に就任して1年が過ぎた小出さん。

「近頃、メディアに出る機会も多くなりました。アニメ『たまゆら』の影響もあり、この1年で竹原を訪れる方が増えたように思います。今後、たくさんの方が来て

くれると嬉しいです。」

と、1年間を振り返ります。

小坂市長は、

「市内のイベントだけでなく、市外、県外での活躍も期待しています。がんばってください。」と、激励の言葉を送りました。

2人の任期は、来年3月まで。今後、あらゆる場所で竹原の魅力を発信し、イベントなどを盛り上げます。



▶桜まつりで行われた認定式
(右)小出姫幻さん、
左:黒市理世さん

災害発生時に要援護者の避難所を設置

3月27日、市役所で、竹原市と8社会福祉法人・4医療法人が、「福祉避難所」の設置運営に関する協定を締結しました。災害が発生した時に、特別な配慮を必要とする人が避難し、生活できる場所が提供されます。



竹原たけめし 2周年

4月5日、文化創造ホールで、新・ご当地グルメ「竹原たけめし」2周年の発表会が行われました。発表会では、2年間の取り組みや、各店舗工夫を凝らした今年のメニュー紹介、基調講演などが行われました。地域のおもてなし向上の取り組みに、今後も注目ですね。



新入生 希望を胸に

4月9日、市内の中学校で入学式が行われました。吉名中学校では12人の新入生が、緊張の面持ちで入学式に臨み、在校生や先生たちが温かく迎えました。

期待と不安を抱きながら始める新しい中学校生活。どんなものになるか楽しみです。



忠海で「三次の鵜飼」

4月14日、忠海町で開催された宮床祭で、「三次の鵜飼」が行われました。1人の鵜匠が、プールに放たれた3匹の鵜を操って魚を捕らえる様子は圧巻。集まった約300人の観客から、「おお〜」という歓声が聞かれ、地域の垣根を超えた交流を楽しみました。



圧巻！トップアスリートのプレー

3月30日、バンブー公園の体育館で、NTT西日本ソフトテニスクラブの選手がコーチとなり、トップアスリート・ソフトテニス教室が開催されました。

約50人の参加者は、トップスポーツ選手のお手本をしっかりと確認し、アドバイスを受けながら、ストロークやボレーなどの練習を行いました。

「短い時間だったけど、充実した楽しい練習ができた」、「トップアスリートとふれあえてよかった」との感想が聞かれました。

選手とのふれあいを楽しみ、たくさん学ぶことができた2時間でした。



桜満開！ 桜まつり

4月7日、バンブー公園で、桜まつりが開催されました。

当日の天候はあいにくの小雨でしたが、約6,000人の人が、ステージショーやグルメブース、満開の桜の下でのお花見を楽しんでいました。

冷たい雨風にも負けず咲き誇る、桜の美しさに、訪れた人は見とれていました。来年も、満開の桜を見に訪れたいですね。